

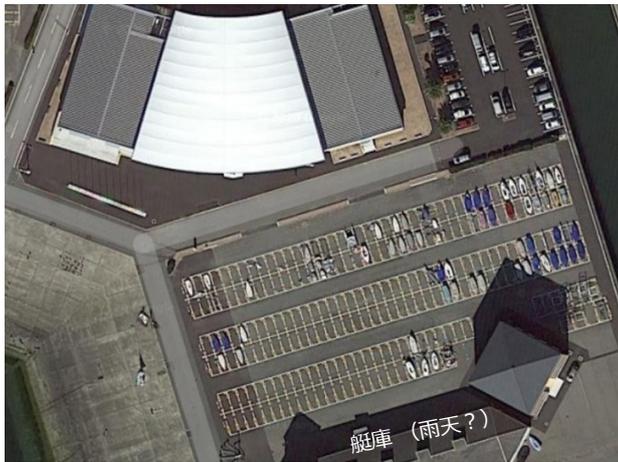
第43回 西日本オプティミスト級セーリング選手権大会

計測 ガイダンス

はじめに

今年、新型コロナ禍の影響が社会不安を煽り、それに対し皆さんの命を守る為の行動規範が求められています。この様なことで各大会開催の自粛/規制を考えるのは日本OP協会の創設後52年の歴史で初めての異常事態です。国際OP協会 (IODA)、では世界選手権の中止、6大陸選手権のうちヨーロッパとアジア/オセアニアだけが かつらうじて開催される予定となりました。第43回の本大会は 世間の風の中で 如何に成立させるかがテーマとなります。本書は例年では「計測指示書」ですが、上記に照らして「計測ガイダンス」としますのでご理解をお願いします。

1. 規則 セーリング競技規則 / セーリング装備規則 2017/2020 2020 国際OP級クラス規則
2. 一般要件 # 1. 主催者によって任命された計測員は 大会計測に関して諸規則を準用する。
2. 人と人との間隔が適切に保たれるように やむを得ない場合を除き配慮すること。
3. 計測受付 ① 今年、計測員がバースにて、コーチから所属の選手の計測書を受け取る時点を計測受付とします。
② 参加申込時に提出した計測書をA-4サイズにプリントしてクラブごとまとめて、計測員に提出する。
③ 計測証明書 (レジストブック) を計測時に用意しておき、計測員に要求されれば提出すること。



4. レース前計測 (バース計測)

- ① 艇の計測は クラブごとに まとめて行う。
- ② クラブのコーチが立ち会い、計測員が指示したパーツのシリアルナンバーを読み上げる。
- ③ 選手は 約2m以上離れた位置から見守り、計測員が質問した場合には答えてください。

注：雨天では 艇庫内で行う可能性があります。



5. 海上計測： コロナの影響を排除する主旨で 海上計測は通例の方法とは異なり
Finish 付近で計測艇からコールするので 計測艇に艇をつける事なく
一定距離を保って待機し 計測員から呼ばれた偽装品を持ち上げて
視認する方法をとります。視認が困難とされる場合のみ艇を計測艇につけて
視認する場合もあります。